

番号	氏名	抱負
131	鈴木 昇一	日本放射線技術学会は医療現場の診療放射線技師を中心に医師、医学物理関係者、製造メーカー、研究者などを包含し、日本で唯一の放射線技術に関する学術団体、公益社団法人として大きな成果を上げてきました。本学会で養われた知見を基に、本学会の発展のために微力ながら貢献したく、さらに、本学会において専門の医療被ばくの正しい評価方法の確立、医療放射線安全学の確立の発展に寄与したく代議員に立候補した次第です。
132	鈴木 直二	部会運営をとおり、学会員の意見を吸い上げ、それをもって、総会に出席し本学会の案件について審議・議決に参画いたします。また、学会方針に応じ、代議員、学会員の連携を深め学会の状況把握をとおり、学会員に周知することで本学会の活性化に寄与する役割を担います。
133	鈴木 信昭	入会以来、学術大会への参加、学会発表、論文投稿、スタンフォード大学への研修参加など、学会にはたいへんお世話になってきました。これからは、代議員という立場で学会活動に関わることによって、学会に少しでも恩返しができればという思いでこの度立候補いたしました。北海道の学会員の代表として、今後の技術学会の発展のために微力ですが何かお手伝いしたいと考えております。どうぞよろしく願い申し上げます。
134	隅田 博臣	広島大学は原爆投下以来、大学一体となり被ばく医療に取り組んでいる。私も放射線技師として様々な取り組みに対応している。特に福島原発事故で保健物理の重要性が注目され、その一助として参加している。私はその情報発信を日本放射線技術学会よりできればと考えている。また、様々な分野で国際化が必須となっている昨今、コンプライアンスはもとより倫理を意識し研究発信できる場になるよう微力ながら貢献したい。
135	諏訪 和明	現在、関東部会関東DR研究会幹事として会務に協力させて頂いております。関東DR研究会幹事を務めさせて頂いている中で、学会本部、分科会、部会、研究会の結びつきの重要性を常に実感しております。今後も学会本部、分科会等と協力し、多くの事業を行っていきたくと考えています。代議員として、更なる技術学会の発展、部会の活性化、会員の放射線技術の向上のために寄与してゆきたい所存でおります。
136	関 みさよ	今回代議員に立候補させていただきました関みさよと申します。私は本学会では出版委員会に過去4年間、東京部会では現在編集委員会に所属させていただきました、学会・部会の運営に携わることができました。これらの経験を今後も活かすべく、円滑な学会運営の遂行と発展のために、微力ではございますが最善の努力を尽くしていきたいと思っております。どうぞよろしく願い申し上げます。
137	瀬口 繁信	私は診療放射線技師として35年間臨床に従事するとともに、研究にも携わってきました。臨床での業務と論文執筆は別物ではなく、密接に関連しています。病院での業務はレントゲンやCT、MRを撮るだけではなく、患者接遇、医療安全、機器管理からスタッフの育成指導まで広範囲に渡っています。今までに培ったこれらの知識を活かしながら、放射線技術学会に対して何らかのサポートをしていきたいと思っております。
138	高倉 亨	代議員に立候補いたしました高倉 亨です。日本放射線技術学会は技術者が集う学術団体であることが必要だと思います。まだまだ力不足ですが、会員の皆さまから有益な学術団体と感じていただけるようにしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。
139	高島 弘幸	この度、平成27・28年度代議員に立候補いたします。本学会の決定事項や指針を確実に地方部会に伝え、地方部会の意見や要望が本部に伝わるよう努力します。日本放射線技術学会と北海道部会のさらなる発展および連携のための努力を惜しみません。さらに、会員の研究や教育分野における意識向上のために、精進していきたい所存です。よろしくお願いいたします。
140	高嶋 優子	今期、代議員に立候補致しました、高嶋優子です。東京部会では乳房撮影技術研究委員に所属し精度が高く受診者に優しいマンモグラフィ撮影の普及に携わり、胃がん検診精度管理機構では指導員として基準撮影法の技術指導と啓蒙を行っています。また、現在5歳の子育て中です。今後、子連れ参加可能な勉強会や在宅学習の企画をするなど、女性ならではの目線で活動を行っていきたくと思っております。よろしくお願いいたします。